

平成21年5月期 第3四半期決算短信

平成21年4月7日

上場会社名 住江織物株式会社
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年4月9日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 吉川 一三
 (氏名) 飯田 均

上場取引所 東大

TEL 06-6251-6803

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第3四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第3四半期	55,970	—	123	—	297	—	△583	—
20年5月期第3四半期	61,050	6.7	1,697	6.5	1,678	△5.1	852	△70.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第3四半期	△7.71	—
20年5月期第3四半期	11.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年5月期第3四半期	71,477	24,663	34.0	321.45
20年5月期	79,935	28,152	34.8	368.13

(参考) 自己資本 21年5月期第3四半期 24,298百万円 20年5月期 27,839百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
21年5月期	—	2.50	—		
21年5月期(予想)				0.00	2.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,900	△9.9	△390	—	△180	—	△1,730	—	△22.88

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年5月期第3四半期 76,821,626株 20年5月期 76,821,626株

② 期末自己株式数 21年5月期第3四半期 1,231,221株 20年5月期 1,197,711株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年5月期第3四半期 75,606,473株 20年5月期第3四半期 76,222,381株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の失速により欧米やアジア向けを中心に輸出が急減し、設備投資の減少や雇用環境の悪化、個人消費の冷え込みなど、いまだ底の見えない景気の下降局面が続きました。当社を取り巻く事業環境としましても、全事業分野において景気後退と消費低迷が直撃し、特に自動車内装材分野では需要が急激に悪化しました。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、前年同期比50億79百万円減の559億70百万円となりました。また、営業利益は前年同期比15億73百万円減の1億23百万円、経常利益は前年同期比13億81百万円減の2億97百万円、四半期純損益は前年同期比14億35百万円減の5億83百万円の四半期純損失となりました。

(インテリア事業分野)

オフィスビルや商業施設向けでは、当第3四半期に入り、景気後退の影響からリニューアル、新規工事の減少が顕在化するなかで、ロールカーペットの売上が不振だったものの、タイルカーペットは比較的堅調に推移しました。当社の得意とする環境問題に対応した商品に関しては、ペットボトルリサイクル繊維「スミトロン®」を使ったタイルカーペット「SG-300」「SG-400」やロールカーペット「エココア100」など、リサイクル性に優れた商品が厳しい市場環境ながら健闘しました。一般家庭向けのカーペット市場では、消費者心理の冷え込みから市場が縮小傾向にあるなか、第2四半期に引き続き、第3四半期でも前年同期を上回ることができました。利益面では、原油価格が下落傾向にあるものの、原材料の大幅な値下げには至っておらず、製造コストの高止まりが利益を圧迫しております。このような非常に厳しい事業環境のもと、着実な事業展開と販管費の絞り込みを行った結果、当第3四半期連結累計期間におけるインテリア事業分野の売上高は263億93百万円となり、営業利益は4億46百万円となりました。

(自動車・車両内装事業分野)

自動車関連では、昨年10月以降の自動車減産傾向は復調せず、国内事業における売上高は前年同期比で半減しました。利益面では、収支改善に向けた活動や経費削減を実践してまいりましたが、非常事態とも言える急激な市場の縮小により、当第3四半期では営業損失となりました。海外では、北米自動車市場の不振により、米国子会社STA (Suminoe Textile of America Corporation) の売上、利益ともに厳しい状況となりましたが、国内から収益構造の見直しに向けた支援を行ったことから改善へと向かっております。中国では、市場の拡大にやや減速傾向が見られるものの、SPM (住江互太(広州) 汽車繊維製品有限公司) が売上を伸ばし、利益面でも順調に推移しております。

車両関連では、リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ・e」をJR各社や私鉄へ積極的に拡販しましたが、シート表皮材の需要の減少により、売上高は前年を下回る展開となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における自動車・車両内装事業分野の売上高は255億94百万円となり、営業利益は5億52百万円となりました。

(その他事業分野)

当第3四半期連結累計期間におけるその他事業分野の売上高は39億82百万円、営業利益は2億34百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ84億58百万円減少し714億77百万円となりました。これは、昨今の経済状況が一層悪化したことによる売上債権等の減少および保有株式の時価下落に伴い、投資有価証券が減少したことによるものです。

負債につきましては、仕入債務等の減少により、前連結会計年度末に比べ49億68百万円減少し468億14百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ34億89百万円減少し246億63百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は34.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年2月26日公表の業績予想数値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、一部の子会社では、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、売上総利益、営業利益、経常利益がそれぞれ66百万円減少し、税金等調整前四半期純損失が66百万円増加しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更が営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

④ 「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表より適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

また、この変更に伴う営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,201	8,960
受取手形及び売掛金	19,835	21,847
有価証券	773	778
商品及び製品	8,486	7,448
仕掛品	1,406	1,475
原材料及び貯蔵品	1,811	1,378
その他	2,749	3,312
貸倒引当金	△52	△43
流動資産合計	40,212	45,158
固定資産		
有形固定資産		
土地	16,683	16,737
その他(純額)	6,575	7,435
有形固定資産合計	23,259	24,172
無形固定資産		
投資その他の資産	230	176
その他	8,067	10,785
貸倒引当金	△292	△357
投資その他の資産合計	7,774	10,428
固定資産合計	31,265	34,777
資産合計	71,477	79,935
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,445	22,261
短期借入金	7,689	7,848
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	1,259	1,021
未払法人税等	15	803
その他	2,747	3,792
流動負債合計	30,356	35,926
固定負債		
社債	1,300	1,500
長期借入金	5,056	4,305
退職給付引当金	3,702	3,695
役員退職慰労引当金	255	244
その他	6,142	6,111
固定負債合計	16,457	15,856
負債合計	46,814	51,782

住江織物(株)(3501)平成21年5月期第3四半期決算短信

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	5,468	6,429
自己株式	△323	△318
株主資本合計	17,351	18,317
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	164	2,409
繰延ヘッジ損益	△22	△28
土地再評価差額金	7,184	7,184
為替換算調整勘定	△378	△44
評価・換算差額等合計	6,947	9,521
少数株主持分	364	313
純資産合計	24,663	28,152
負債純資産合計	71,477	79,935

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)
売上高	55,970
売上原価	44,638
売上総利益	11,331
販売費及び一般管理費	11,208
営業利益	123
営業外収益	
受取利息	23
受取配当金	105
持分法による投資利益	55
不動産賃貸料	165
その他	152
営業外収益合計	503
営業外費用	
支払利息	194
不動産賃貸費用	41
その他	92
営業外費用合計	329
経常利益	297
特別利益	
固定資産売却益	23
貸倒引当金戻入額	20
事業譲渡益	77
特別利益合計	121
特別損失	
固定資産除売却損	16
投資有価証券評価損	261
事業構造改善費用	314
特別損失合計	591
税金等調整前四半期純損失(△)	△173
法人税、住民税及び事業税	314
法人税等調整額	75
法人税等合計	390
少数株主利益	18
四半期純損失(△)	△583

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年6月1日
 至平成21年2月28日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△173
減価償却費	881
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18
受取利息及び受取配当金	△129
支払利息	194
持分法による投資損益(△は益)	△55
事業譲渡損益(△は益)	△77
事業構造改善費用	314
固定資産除売却損益(△は益)	△7
投資有価証券評価損益(△は益)	261
売上債権の増減額(△は増加)	1,878
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,556
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,701
その他	△124
小計	△2,293
利息及び配当金の受取額	120
利息の支払額	△174
法人税等の支払額	△1,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△10,094
有価証券の売却及び償還による収入	10,609
有形固定資産の取得による支出	△698
有形固定資産の売却による収入	52
投資有価証券の取得による支出	△234
投資有価証券の売却及び償還による収入	137
事業譲渡による収入	77
その他	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△94
長期借入れによる収入	1,800
長期借入金の返済による支出	△783
社債の償還による支出	△200
少数株主からの払込みによる収入	90
配当金の支払額	△356
その他	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	439
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,258
現金及び現金同等物の期首残高	8,960
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,701

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成21年2月28日)

	インテリア事業 (百万円)	自動車・ 車両内装事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	26,393	25,594	3,982	55,970	—	55,970
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	36	72	113	(113)	—
計	26,398	25,630	4,054	56,083	(113)	55,970
営業利益	446	552	234	1,232	(1,109)	123

(注) 1 事業の区分は、製品の用途および市場の類似性を勘案し区分しております。

2 各事業の主要な製品

- (1) インテリア事業・・・カーペット、カーテン、壁紙、各種床材等
 (2) 自動車・車両内装事業・・・自動車・バス・鉄道車両・航空機等の内装材
 (3) その他・・・OEM事業、物性・性能検査業、損害保険代理業等

3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4. (3) ②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益がインテリア事業で25百万円、自動車・車両内装事業で40百万円、その他の事業で0百万円それぞれ減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年 5 月期 第 3 四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	61,050
II 売上原価	48,241
売上総利益	12,808
III 販売費及び一般管理費	11,111
営業利益	1,697
IV 営業外収益	516
V 営業外費用	535
経常利益	1,678
VI 特別利益	5
VII 特別損失	36
税金等調整前 四半期純利益	1,647
法人税、住民税 及び事業税	663
法人税等調整額	131
少数株主損益	0
四半期純利益	852

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年 5 月期第 3 四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,647
減価償却費	893
退職給付引当金の増加額	73
役員退職引当金の減少額	△ 126
貸倒引当金の増加額	31
受取利息及び受取配当金	△ 127
支払利息	198
有形固定資産処分損	35
投資有価証券売却益	△ 10
売上債権の増加額	△ 1,937
たな卸資産の増加額	△ 1,504
仕入債務の増加額	1,841
その他	△ 25
小計	988
利息及び配当金の受取額	120
利息の支払額	△ 155
法人税等の支払額	△ 731
営業活動によるキャッシュ・フロー	221
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△ 8,896
有価証券の償還・売却による収入	8,405
有形固定資産の取得による支出	△ 1,006
有形固定資産の売却による収入	196
投資有価証券の取得による支出	△ 634
投資有価証券の償還・売却による収入	613
その他	△ 38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,359
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△ 864
長期借入れによる収入	1,842
長期借入金の返済による支出	△ 787
社債の償還による支出	△ 1,200
配当金の支払額	△ 357
その他	△ 281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,648
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	60
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 2,725
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,746
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,020

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(平成20年5月期第3四半期)

(単位:百万円)

	インテリア 事業	自動車・車両 内装事業	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	28,162	28,746	4,140	61,050	—	61,050
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	51	11	116	179	(179)	—
計	28,214	28,758	4,257	61,229	(179)	61,050
営業費用	27,487	26,822	4,044	58,354	997	59,352
営業利益	726	1,935	212	2,874	(1,177)	1,697

(注) 1. 事業の区分は、製品の用途および市場の類似性を勘案し区分しております。

2. 各事業の主要な製品

(1) インテリア事業・・・・・・カーテン、カーペット、壁装用クロス、家具用裂地等

(2) 自動車・車両内装事業・・・・・・自動車・バス・鉄道車両・航空機等の内装材

(3) その他・・・・・・OEM事業、物性・性能検査業、損害保険代理業等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,177百万円であり、その主なものは当社の管理部門および研究開発部門にかかる費用等であります。